学業・部活動両立優秀奨励賞

【UNIVAS：パーソン・オブ・ザ・イヤー、ウーマン・オブ・ザ・イヤー】

　応募申請書

　　　　　令和　　年　　月　　日

長崎国際大学学長　殿

申請大学・団体の所在地

申請大学・団体の名称

申請者役職・氏名

下記のとおり応募します。

記

1. 被推薦者個人名等（募集要項4.(1)応募条件①、②）

|  |  |
| --- | --- |
| 被推薦者個人名 | 　 |
| 学部・学科・専攻・コース等 |  |
| 学年(応募時点) | 　　　　　　年 | 性別 | 男　・　女 |
| 所属部 |  |

1. 応募者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | 　 |
| 3-1団体名（正式名称） | 　 |
| ふりがな | 　 | 役職名 |
| 3-2代表者名 | 　 | 　 |
| 3-3所在地 | 〒　 |
| 3-4連絡先（窓口担当者） | 氏名 | TEL |
|
| 所属・役職 | メールアドレス |
|

1. 応募条件に係る確認事項（募集要項4.(1)応募条件③・④）

応募条件に係る確認事項について、確認の上当てはまる場合のみ○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 当該個人について、氏名・所属の公表が可能である |
|  | 法令上または社会通念上、表彰するにふさわしくないと判断される問題等を起こしていない |

1. 学業成績等の状況（募集要項1．応募条件(1)②、5.(1)審査の認定要件①・②）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 5-1被推薦者の通算GPA（昨年度末まで） | 　 | 5-3被推薦者の取得単位数（応募時点） |  |
| 5-2大学平均通算GPA | 　 | 5-4卒業に必要な単位数 | 　 |

当てはまる選択肢を〇で囲ってください。

|  |  |
| --- | --- |
| 今年度卒業見込み | あり　　・　　なし |

1. 所属部における表彰履歴・出場履歴（募集要項5．(1)審査の認定要件②）

表彰実績で当てはまるものに○を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | A：全国大会相当の大会における優勝経験、もしくはそれ以上の成績（ユニバーシアード等） |
|  | B：全国大会相当における表彰経験 |
|  | C：地区大会における優勝経験 |
|  | D：地区大会における表彰経験 |
|  | E：その他大会における表彰経験 |

表彰実績の詳細を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 大会名 |  |
| 順位・成績 |  |

1. 各分野における活躍の概要

|  |
| --- |
| 概要（枠は適宜広げて記載ください） |
| 6-1所属部における活躍 | 【役割・取組】 |
| 【背景・難易度】 |
| 【リーダーシップ】 |
| 6-2学業面における活躍 | 【役割・取組】 |
| 【背景・難易度】 |
| 【リーダーシップ】 |
| 6-3課外活動における活躍 | 【役割・取組】 |
| 【背景・難易度】 |
| 【リーダーシップ】 |

【参考】

|  |
| --- |
| 概要（枠は適宜広げて記載ください） |
| 6-1所属部における活躍 | 【役割・取組】* 3年次にはキャプテンを務め、5年ぶりの全国大会出場を果たした。
 |
| 【背景・難易度】* 同期30名中、唯一1年時からベンチ入りしている実力と、チームワークを大切にする姿勢に部内全体からの信頼があった。
 |
| 【リーダーシップ】* 練習メニューの提案や後輩のサポートを率先して行っており、レギュラーになる前から部の中心メンバーであった。
* チーム全体をみる俯瞰力、同期や後輩に慕われる人間性により、部員全員一致の推薦でキャプテンに選ばれた。
 |
| 6-2学業面における活躍 | 【役割・取組】* 所属学部ゼミに注力しており、3年次より副ゼミ長を務めている。
* 他の授業の成績も極めて高く、大学平均を著しく上回っている。
 |
| 【背景・難易度】* ○○が所属するゼミは学内でも課題が多く厳しいことで有名なであり、運動部学生で部活動との両立を考え、当該ゼミに入ることは非常に稀であった。
* 〇〇はゼミに入った2年後期より1度も欠席しておらず、また課題の評価も毎回非常に高い。
 |
| 【リーダーシップ】* 企業主催の大学生向けビジネスコンテストの募集にゼミで応募することを提案するなど、ゼミを引っ張っていく存在であった。
 |
| 6-3課外活動における活躍 | 【役割・取組】* 地域ボランティアに参加し、地元の小学生に野球を教えている。
 |
| 【背景・難易度】* 学業・部活度との兼ね合いから継続的に参加することは難しく、多くの学生は単発のボランティアとなってしまうが、〇〇は高校生から5年間、隔週で活動し続けている。
 |
| 【リーダーシップ】* 責任感が強く、他のボランティアが活動を辞退し、ボランティアが1人だけになってしまっても参加を続けた。
* 活動場所の確保ができない時期があったが、他の小学生チームに合同練習をお願いし、練習の継続に貢献した。
 |